

## 理事会・評議員会

### 事業拡大と財政基盤安定に向け、2013年度事業計画を決定

6月11日第8回(通常)理事会を、6月25日第5回(定時)評議員会をセンター本部にて開催、全議案について承認されました。

#### 【承認された議案】

- ① 2012年度事業報告の件 ② 2012年度決算並びに監査報告の件
- ③ 2013年度事業計画の件 ④ 2013年度予算の件
- ⑤ 「評議員」「監事」「理事」交代選任の件
- ⑥ 公益目的事業の追加・変更の取扱い等の件

#### 【理事長挨拶抜粋】

会員企業様に対しては、経営環境の厳しい状況の下、収受料金改定の申入れを行い、ご理解をお願いしています。

また、収入拡大策として、新規企業開拓員を委嘱し受入企業の掘起しを進めるとともに、新規事業の開発と早期の事業化に取り組んでいます。

2013年度以降についても、これら諸施策を更に深度化し進めていくこととしています。一層のご理解とご支援をお願いします。



評議員会で発言する人見理事長

## ありがとう

河北省 東北大学秦皇島分校 宮本美穂

東北大学秦皇島分校は、六つの学部がある総合大学で、約1万人の学生が在籍している。河北省最東部に位置し、南は渤海湾に面していて、中国でも有数の避暑地である。北東部の山海関は、万里の長城の東端であり、「天下第一関」と呼ばれる城楼を中心に、長城が海へ突き出た「老龍頭」や「孟姜女廟」などがあり、名所旧跡が多い。

2年前、前任者が家庭の事情で来られなくなり、急遽、私が赴任することになった。2000年の香港大学から、広東省の韶関学院、天津浜海職業学院、そして、この東北大学秦皇島分校で4校目になる。6年ぶりの中国はずいぶん様子が変わっていた。人々の生活は昔よりずっと豊かになったように見える。以前は生活のために一生懸命働いているという印象だったが、いまは生活をなおいっそう豊かにするために働いているように見え、余裕のようなものが感じられる。また、現在の大学生は、はっきりものを言うようになり、自己主張が強い。そして、その服装は実に華やかで、ファッショナブルである。彼女たちに洋服はどこで買うのかと聞くと、ネットショッピングを利用しているとのこと。また、授業では、LL教室のパソコンで、NHKや民放の番組も見られるので、ダウンロードして、よく利用している。昔は、ただ黒板とチョークだけで、足りないものを自分の工夫で補って授業をしていたことを思うと、隔世の感がある。

さて、この大学の日本語学科は今年やっと5年目で、知名度が低いせいか、残念なことに学生数は年々減少している。そのため、学生を集めるためのただ一つの売りである、スピーチコンテストや作文コンクールには大変力を入れている。一昨年は河北省で優勝、東京のコンテストで2位、去年は2年生が河北省で2位になり、毎年よい成績を残している。練習では、毎日2時間、日本人教師がつきっきりで発音をチェックする。5月の連休も返上して練習する。今年も去年の日中関係が尾を引いて、スピーチコンテストがなく、学内コンテストになったが、選ばれた学生たちの熱意は変わらない。土日も積極的に教師と共に練習している。内容は「日本人や日本にまつわる感動した出来事」である。多くの学生が、実にいろいろな体験やエピソードで日本について感動したことを綴ってくれた。

日本語学科では例年5月から6月にかけて、スピーチコンテストだけではなく、他の

学部の学生も参加する「日本語アフレココンテスト」や「日本語カラオケコンテスト」などを開催する。去年の尖閣問題をきっかけに激化した反日運動のために、参加するのは日本語学科の学生がほとんどだろうと思っていたが、他の学部の学生も多く参加してくれて、友好ムードが広がった。

中国にいると何年かに一度は激しい反日運動にあう。学生たちの作文を読んでいくと、一番身近な日本人である日本語教師の存在が日本に対する見方を変えているように思う。ちょっと中国を訪問し、ちょっとしたイベントなどで交流しても、真の友好は結べない。毎日顔を合わせ、ともに語り、互いの意見を交換し合う。そうした日常の会話の中で理解が深まり、確たる友好が築かれていくと思う。そう考えると、日本人教師の使命は重いと感じる。

そんな中、大学より「優秀指導教師」の表彰を受けた。もっと頑張らなくてはという気持ちにさせてくれた。

学生や教師との交流の中で、多くのことを学ばせていただいた二年間だった。すべての人にありがとうの気持ちで一杯である。

謝謝大家！謝謝同学们！再見！！



日本語学科の学生たちと一緒に